

○  
議長(清浦)

次ニ

鐵道省官制中改正ノ件第一讀會朗讀ヲ省略  
シ直ニ審査報告ヲ為サレム

報告負(二上)

謹テ審査スルニ本業内容ノ要點

ハ左ノ諸點ニ在リ

第一電氣局ヲ新設スルコト

從來鐵道省ニ於ケル電氣ニ關スル事務ハ  
大臣官房、工務局及工作局ニ於テ之ヲ分掌  
セタルカ其等部局ノ間ニ於テ事務ノ連絡

ヲ缺キ不便少カラス加之近時同省ニ於ケ  
ル電氣ニ關スル事務大ニ増大ヲ来セタル  
上夫ノ鐵道ノ動力ヲ電氣ニ依ラムトスル  
所謂鐵道電化計劃ノ調査ヲ為スノ必要ア  
ルニ付今回同省内ニ電氣局ト名クル一局  
ヲ設ケ電氣設備ノ新設、保存、改良及電力ノ  
發生、配給ニ關スル事項ヲ總テ統一掌理セ  
レムルコトトス尚鐵道ノ建設改良又ハ工  
作ニ關スル事務ヲ取扱ハレムル爲從來地  
方ニ事務所アルト同様ニ將來ハ電氣ニ關

レテモ必要ト認ムル地方ニ事務所ヲ設ク  
ルヲ得ル旨ヲ明定ス

## 第二技監ノ廢止

技監ノ官ハ明治四十年帝國鐵道廳ノ時代  
ニ創設セラレ大正四年鐵道院ニ於テ一度  
廢止セラレレモ翌五年再ヒ設置セラレ鐵  
道省ト爲リタル今日ニ迄ヘルモノナルカ  
此ノ技監ノ任トスル所ハ官制上ニハ技術  
ヲ統理ストアルモ鐵道ニ關スル技術ハ土  
木機械、電氣等ノ諸方面ニ互ルモノナルカ

故ニ一人ニテ之ヲ統括シ得ル適任者ヲ見  
出スコト事實上甚ク困難ナルノミナラス  
局長ノ上ニ技術次官トモ云フヘキ技監ヲ  
置クコトハ事務簡捷ノ爲ニモ不可ト認ム  
トノ理由ニ因リ今回此ノ官ヲ廢止セムト  
ス

## 第三鐵道監察官ヲ新ニ設クルコト

從來鐵道業務ノ監察ニ付テハ只内規ヲ以  
テ省内ニ監察委員ナルモノヲ設ケ別ニ本  
務アル職負ヲレテ其ノ任ニ當ラレタル

カ此ノ如キ無務ノ職制ヲ以テシテハ到底  
此ノ監察ノ目的ヲ達スルコト十分ナラサ  
ルカ故ニ茲ニ本業ヲ以テ新ニ鐵道監察官  
ヲ<sup>設</sup>其ノ定員ヲ四人トシ内二人ヲ勅任二人  
ヲ奏任トシ大臣ノ命ヲ承ケ鐵道業務ヲ監  
察スルモノトス

第四從來ノ職員ノ定員ヲ增加スルコト

即チ經理局及電氣局ノ課長ニ充ツル爲書  
記官二人ヲ増シ其ノ他各般事務ノ増進ニ  
伴ヒ事務官一人、技師九人ノ外屬及技手若

干人ヲ増ス

要スルニ本業ハ鐵道業務ノ發展ニ應シ且其  
ノ事務ノ改善ニ資スル爲相當ノ改正ヲ加フ  
ルモノニシテ其ノ内容別ニ支障ノ虞ナキニ  
付此ノ儘可決セラレ然ルヘシト思料ス

右謹テ審査ノ結果ヲ報告ス

議長(清浦) 本業ニ付テハ別ニ御質疑御意見ヲ

シト認メ讀會ヲ省略シ直ニ採決スヘシ本業  
賛成ノ諸君ノ起立ヲ請フ

(全會一致可決)

○

議長(清浦) 次 =

朝鮮總督府專賣局屬ノ特別任用ニ關スル件  
第一讀會朗讀ヲ省略シ直ニ審査報告ヲ為シ  
シム

報告員(二七) 謹テ審査スルニ朝鮮ニ於テハ今  
春朝鮮煙草專賣令ナル制令ヲ公布セラレ大  
體内地ノ例ニ倣ヒテ煙草專賣ノ制ヲ實施ス  
ルニ至リタルニ付既ニ四月一日ヨリ朝鮮總  
督府專賣局ヲ設置シ同局ノ職員中副事務官

ニ付テハ曩ニ本院ノ御諮詢ヲ經テ特別任用  
ノ規定ヲ設ケタルコトハ御承知ノ通ナルカ  
今回愈々右ノ制令ニ依リ七月一日ヨリ朝鮮ニ  
於ケル民間ノ煙草製造事業ヲ買収スルニ付  
其ノ事業引継ノ際一時ニ多數ノ屬ノ任命ヲ  
必要トス然ルニ他方ニ於テ其ノ買収セラレ  
ル煙草製造會社ノ従業員中ニハ其ノ事務ニ  
相當經驗アリ屬ニ採用スルニ適當ノ者少カ  
ラサルニ因リ茲ニ本業ヲ以テ一時限リ特別  
任用ノ規定ヲ設ク此ハ往年内地ニ於テ煙草

專賣制實施ノ際煙草ニ關スル學識經驗アル者ヨリ特ニ專賣ノ官吏ニ任用スルコトヲ許シ又鐵道國有ノ際買收セラレタル鐵道ノ從業員ヲ特ニ帝國鐵道ノ官吏ニ任用スルコトヲ許シタルノ先例ニモ準スルモノニシテ詢ニ已ラ得サル措置ト認ムルヲ以テ此ノ儘之ヲ可決セラレ然ルヘシト思料ス

右謹テ審査ノ結果ヲ報告ス

二十一番(金子) 本案ハ職負任用ニ關スル御諮詢案ナルカ故ニ別ニ異議ナキモ朝鮮ニ於テ

ル煙草專賣ニ關聯シ疑點ヲ生レタレハ當局ノ御説明ヲ得タシ今回朝鮮ニ於テ煙草專賣ノ制ヲ始メタルニ付テハ朝鮮ニ於ケル煙草ノ値段ハ内地同様ト為ルヤ又關稅ノ關係モ同様ナルカ朝鮮ニ於テハ舊來ノ條約ノ關係上外國煙草ノ輸入稅安ク外國煙草ノ値段廉價ナリシカ今後ハ如何

委員(馬場) 朝鮮ノ關稅ハ御承知ノ如ク明治四十三年合邦ノ當時十年間從來ノ稅率ヲ据置クコトト為リタルカ昨年其ノ期限滿了ニ際

シ内地ノ關稅定率法ヲ朝鮮ニ適用スルコト  
ト爲リ爾來内地ト全然同一ナリ稅率ハ三十  
五割カト記憶ス從テ朝鮮ニ於ケル外國煙草  
ノ値段ハ内地ト同一ト爲ル理ナリ  
議長(清浦) 本案ニ付テモ別ニ御議論ナレト認  
メ讀會ヲ省略シ直ニ採決スヘシ本案賛成ノ  
諸君ノ起立ヲ請フ

(全會一致可決)

(午前十一時五分閉會)

副議長子爵清浦奎吉

書記官長二上野

書記官

村上恭一

堀江季雄

勅令第 號

關東廳官制中左ノ通改正ス

第十二條中「民政部」ヲ「内務局」警務局ニ改

ム

第十四條ノニ管内ニ警務署ヲ置ク

關東長官ハ必要アリト認ムルトキハ

警務署ノ下ニ警務支署ヲ置クコトヲ

得

警務署及警務支署ノ名稱、位置及管轄

區域ハ關東長官之ヲ定ム

第十五條中「事務總長 勅任」次ニ「局長

二人 勅任」ヲ加ヘ「參事官 專任一人

」參事官 專任二人」ニ「專任九人」ヲ專任

十六人」ニ「三人」ヲ八人」ニ「百八人」ヲ百二十

二

人」ニ「五十一人」ヲ「五十二人」ニ「三十七人」ヲ

「三十九人」ニ「九十九人」ヲ「百二十一人」ニ改

メ「警務官 專任一人 奏任」及「民政部長

ハ關東廳事務總長」ヲ削リ同條第一項中

「民政部長」ヲ削ル

第十六條 事務總長ハ關東長官ヲ佐ケ

廳務ヲ總理シ各部局ノ事務ヲ監督ス

第十七條第一項ヲ左ノ如ク改ム

局長ハ各局ノ長ト為リ關東長官ノ命  
ヲ承ケ局務ヲ掌理シ部下ノ官吏ヲ指  
揮監督ス

警務局長ハ警察及衛生ノ事務ノ執行  
ニ關シ關東長官ノ命ヲ承ケ警視警部  
警部補及巡查ヲ指揮監督ス

第二十二條 削除

第二十六條 削除

第三十條 警視ハ上司ノ命ヲ承ケ警察  
及衛生ノ事務ヲ掌リ部下ノ警部警部  
補及巡查ヲ指揮監督ス

第三十四條 警部ハ上司ノ指揮ヲ承ケ  
警察及衛生ノ事務ニ従事シ部下ノ警

部補及巡查ヲ指揮監督ス

第三十六條ノ二 警部補ハ上司ノ指揮  
ヲ承テ警察及衛生ノ事務ニ従事シ部  
下ノ巡查ヲ指揮監督ス

第三十七條中「警視屬又ハ警部ヲ又ハ屬  
ニ改ム

第三十八條ノ二 警務署長ハ警視警務

四

支署長ハ警部ヲ以テ之ニ充ツ上司ノ  
指揮監督ヲ承テ部内ノ警察及衛生ノ  
事務ヲ掌理シ部下ノ官吏ヲ指揮監督  
ス

第三十八條ノ三 警務署長ハ管内ノ靜  
謐ヲ維持スル為兵力ヲ要スルトキハ  
之ヲ關東長官ニ具状スヘシ但シ非常

急變ノ場合ニ際シテハ直ニ其ノ附近  
ノ守備隊長ニ兵力ノ使用ヲ請求スル  
コトヲ得

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

關東州裁判事務取扱令第七十一條中「民  
政署長及憲兵隊長」ヲ「警務署長」ニ改メ同

條第三項第三號ヲ削ル

關東州罰金及笞刑處分令第九條及第十

一條中「民政署又ハ民政支署」ヲ「警務署又

ハ警務支署」ニ同令第十二條中「關東都督

ヲ「關東長官」ニ改ム

關東州犯罪即決例第一條及第七條中「民  
政署長民政支署長又ハ其ノ職務ヲ代理

スル官吏ヲ「警務署長又ハ警務支署長」ニ  
改ム

關東廳警察官服制別表中「警務官」ヲ「警務  
局長」ニ改ム

勅令第 號

鐵道省官制中左ノ通改正ス

第三條中「十七人」ヲ「十九人」ニ改ム

第四條中「六局」ヲ「七局」ニ改メ「工作局」ノ次

ニ「電氣局」ヲ加フ

第九條第三號及第四號ヲ削ル

第九條ノニ「電氣局」ニ於テハ左ノ事務

ヲ掌ル

一 電氣設備ノ新設保存及改良ニ關スル事項

二 電力ノ發生及配給ニ關スル事項

第十一條 鐵道省ニ專任鐵道監察官四人ヲ置キ二人勅任二人奏任トス大臣ノ命ヲ承ケ鐵道業務ヲ監察ス

二

第十二條中「三十四人」ヲ「三十五人」ニ改ム

第十三條中「百五十五人」ヲ「百六十四人」ニ

改ム

第十四條中「八百八人」ヲ「八百四十人」ニ改

ム

第十五條中「七百八十四人」ヲ「八百三十七

人」ニ改ム

第十六條中「改良又ハ工作」ヲ「改良工作又  
ハ電氣」ニ改ム

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

勅令第 號

朝鮮總督府專賣局屬ハ本令施行ノ際ニ  
限リ朝鮮ニ於テ煙草ヲ製造スル會社ノ  
事務負ノ中ヨリ普通試驗委員ノ銓衡ヲ  
經テ特ニ之ヲ任用スルコトヲ得

附則

本令ハ大正十年七月一日ヨリ之ヲ施行ス